

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故
を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示して
います。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」を
よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みに
なったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくだ
さい。



CDX-MP100X



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
はじめに	6
まず、本機をリセットする	8
時計を合わせる	9
各部のなまえ	10
CD/MP3ファイル・ラジオの 聞きかた	12
カードリモコンの操作	14
ロータリーコマンダー(別売り)の 操作	15

CD

CDを聞く	17
繰り返し聞く(リピート再生)	18
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	19
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)	20
プログラムを変える (プログラム変更)	22
CD TEXTを見る	24

MP3

MP3ファイルを聞く	26
繰り返し聞く(リピート再生)	29
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	30
聞きたいファイルを好きな順に聞く (プログラム再生)	31
プログラムを変える (プログラム変更)	33

ラジオ

放送局を自動で登録する	35
特定の放送局を登録する	37

その他の操作

音のバランスや音質を設定する (バランス/フェーダー) (ベース/トレブル)(ATT)	38
重低音を強調する	40
音や表示などの設定を変える (Set up/Display)	41

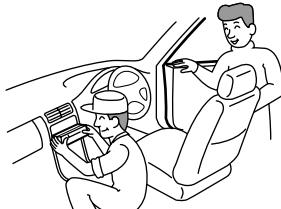
使用上のご注意	43
故障かな?	46
保証書とアフターサービス	49
主な仕様	50
索引	51

! 警告



下記の注意事項を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの原因と
なります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けには専門知識が必要です。
万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
「取り付けと接続」の説明に従って、正し
く取り付けてください。正しい取り付けを
しないと、火災や感電の原因となります。

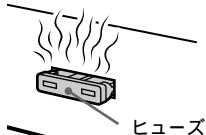


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のもの
をお使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



禁止



ヒューズ

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因と
なります。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



! 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり自動車に損害
を与えることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となるこ
とがあります。



指挟み

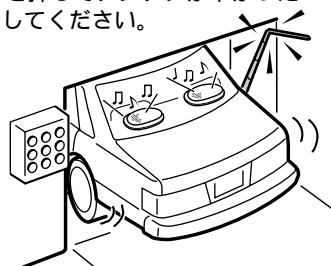


アンテナの高さより低い場所(駐車 場や洗車機など)へ入るときはラジ オを止める

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的
に上がります。低い場所へ入るときは、必
ずラジオ以外のソースに切り換えるか、
OFFボタンを押してアンテナが下がった
ことを確認してください。



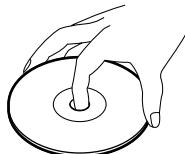
禁止



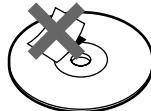
コンパクトディスクについて

CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

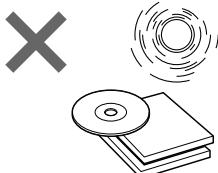
記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。



直射日光やヒーターの温風噴き出し口や、直射日光下で窓を閉め切った車内はかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。



再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向にふき取ってください。ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることができますので、使用しないでください。



こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。
- 本機ではCD(円形ディスク)のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

次のページへつづく

コンパクトディスクについて(つづき)

CD-RおよびCD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集された右表にあるCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや録音に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。
- 本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに含まれるMP3ファイルを再生することができます。

オーディオCD	 
MP3ファイル	 

はじめに

- CDとMP3ファイルとラジオに対応。
- CD：音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/CD TEXT
MP3ファイル：CD-ROM/CD-R/CD-RW(ISO9660レベル1/レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録している) / マルチセッション対応
- ラジオ：FM/AM
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。
- 迫力のある重低音と鮮明な音域を両立させるD-BASS。
- 50W×4のハイパワー。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのロータリーコマンダーの操作方法についても説明しています。

MP3形式ファイルについて

MP3(MPEG1 Audio Layer3の略)は音声

圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R(レコーダブル)、CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

本機ではマルチセッション対応で記録したディスクもご使用になれます。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：ファイル名は8.3形式(名前は半角
英文字大文字と半角数字、"_"で8文字

以下、拡張子は3文字)。

フォルダーは名前が8文字以下
で、階層は8つ以下。

レベル2：ファイル名は最大31文字(区切り
文字、"_"と拡張子を含む)で、各
フォルダーの階層は8つ以下。

拡張フォーマット

Joliet：ファイル名は最大で64文字。

Romeo：ファイル名は最大で128文字。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。

従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。

マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

ご注意

- ディスクにMP3形式ファイルと音声データが混在しているときは、最初に識別した方を再生します。
- ファイル名、フォルダー名はISO9660のレベル1に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視します。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。2つ以下の階層のディスクをお勧めします。
- ディスクに含まれるフォルダーは255個まで再生可能です。
- ディスクに含まれるファイルは999個まで再生可能です。

ちょっと一言

フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生する順番を指定できる場合があります(ライティングソフトによる)。

あなたが放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、接続を変えたときは、RESETボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



RESETボタン

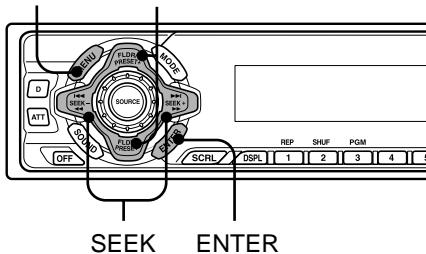
ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。
- RESETボタンを押してから10秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度RESETボタンを押してください。
- フロントパネルの外しかたは43ページをご覧ください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。

MENU FLDR/PRESET



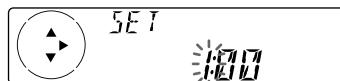
ちょっと一言
D.INFO機能をONに設定
すると常時時計が表示され
ます(41ページ)。

1 MENUボタンを押す。

2 FLDR/PRESETボタンの+または-を押して 「CLOCK」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。



① FLDR/PRESETボタンの+または-を押して「時」
を合わせます。

数値を大きくするには+、小さくするには-を押
します。

② SEEKボタンの+側を押して「分」の位置に移動し、
FLDR/PRESETボタンの+または-を押して「分」
を合わせます。

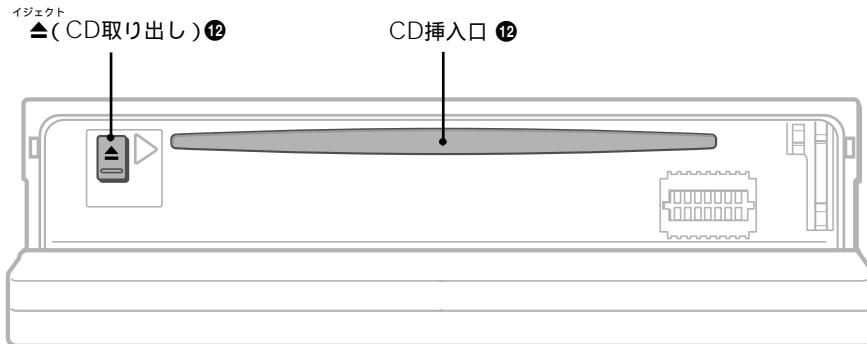
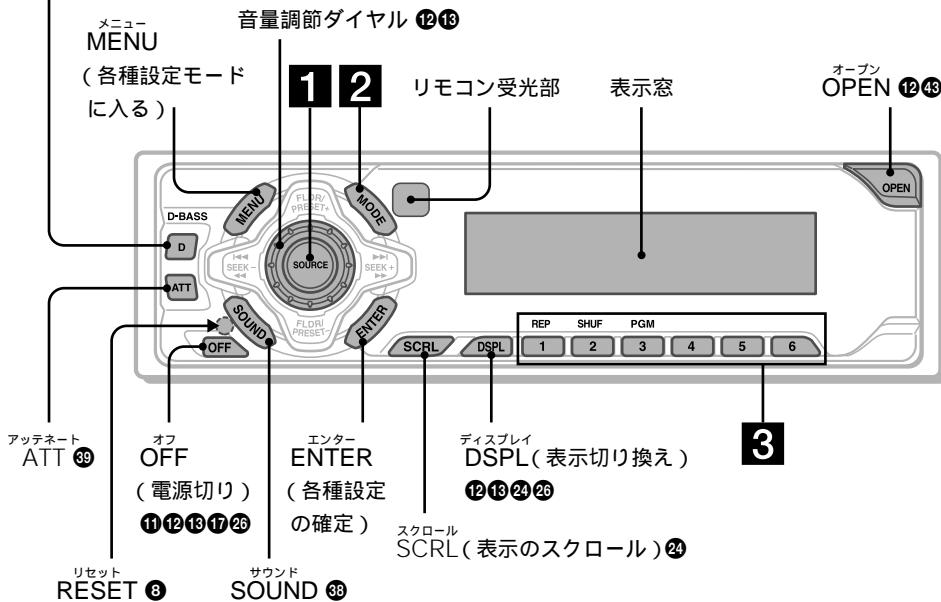
4 設定後、ENTERボタンを押す。

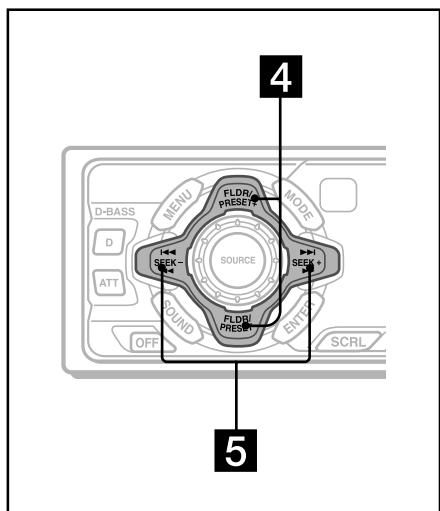
設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。

ダイナミックベース
D(D-BASS)④〇





1 SOURCE(ラジオ/CD/MP3切り換え)
12 13 17 26 35 37

2 MODE

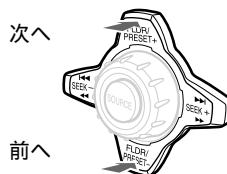
ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の
切り換え 13 35 37

3 数字(1~6)ボタン

ラジオ 放送局の登録/選択
13 35 37

CD/MP3 1: REPボタン 18 29
2: SHUFボタン 19 30
3: PGMボタン 20 31

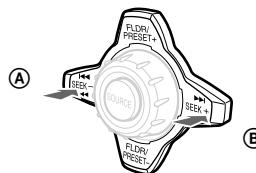
4 FLDR/PRESET(フォルダー選択/プリセット)
リセット/サーチ/メニュー項目選択



ラジオ 登録した局の選局 35

MP3 フォルダーの選択 26

5 SEEK(シーケンス)
頭出し/ラジオ選局/設定項目
選択



Ⓐ Ⓑ

ラジオ 周波数の低い
放送局へ
(押し続ける)
周波数の高い
放送局へ
(押し続ける)

CD/MP3 前の曲へ
早戻し
(押し続ける)
次の曲へ
早送り
(押し続ける)

ACCポジションのないお車のときは、OFF
ボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。
OFFボタンを短く押しただけでは時
計表示が消えず、バッテリーあがりの原因と
なります。

CD/MP3ファイル・ラジオの聞きかた

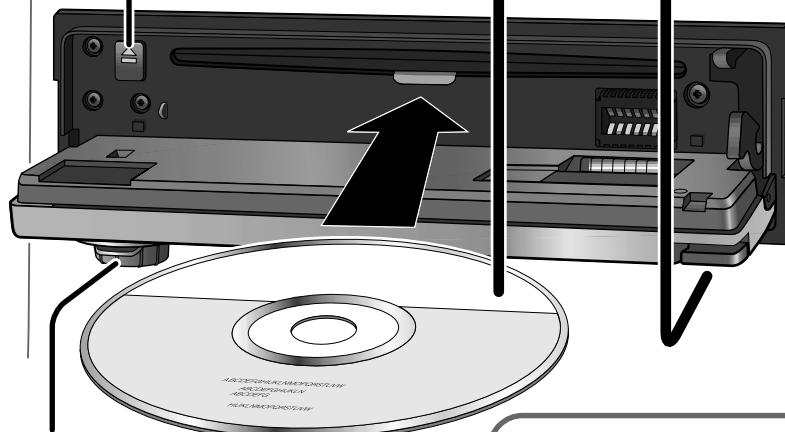
CD/MP3ファイルを聞く

1 パネルを開ける

ディスクを取り出す
取り出す

2 ディスクを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。



音量を調節する

聞きたいところを探す(手動サーチ)

SEEKボタンを押し続け、聞きたいところ
で離します。

前に戻す



先に進める

曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

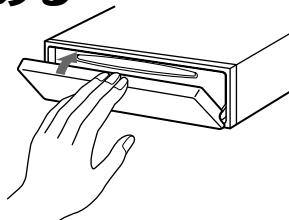
SEEKボタンをとばしたい曲の数だけ短く
押します。

曲の頭や
前の曲へ戻す



次の曲へ進む

3 パネルを手で閉める



ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「CD」または
「MP3」表示にすると再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

止める/電源を切るには
OFFボタンを押します。

本機は8cmCDをアダプターなしで再生できます。

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると誤動作することがありますので使用しないでください。

ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

音量を調節する



2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

自動選局で受信する(自動選局)
SEEKボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。



次の放送局を探す

希望の放送局を受信する(手動選局)
SEEKボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。



低い周波数の放送局を探す

高い周波数の放送局を探す

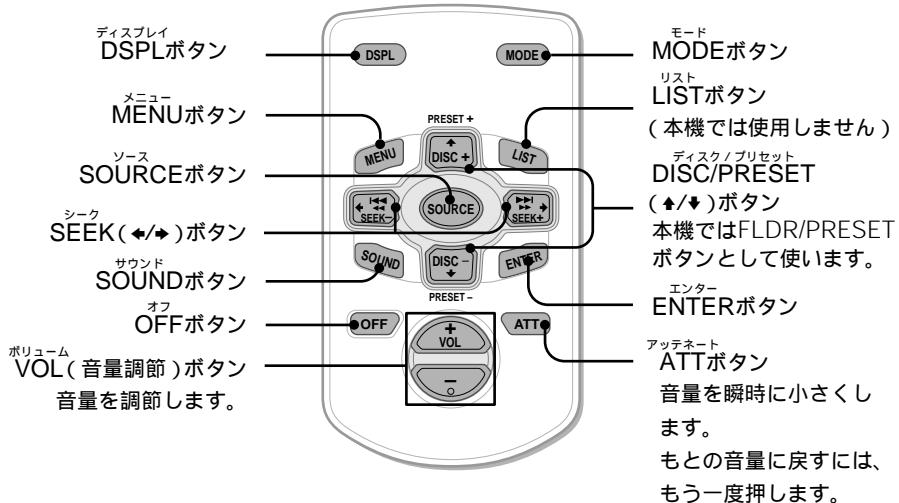
3 聞きたい放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。
くわしくは35~37ページをご覧ください。

カードリモコンの操作

本機のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



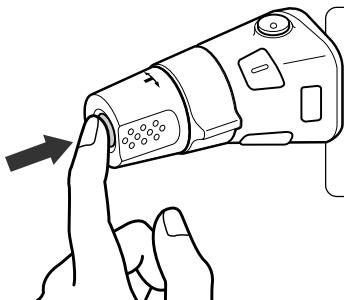
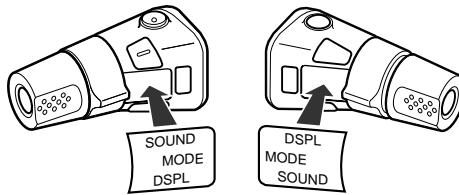
ご注意

本体またはカードリモコンのOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようになるためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってください。

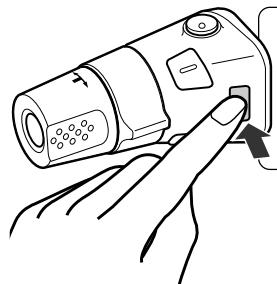
ロータリーコマンダー(別売り)の操作

ロータリーコマンダーのシールについて

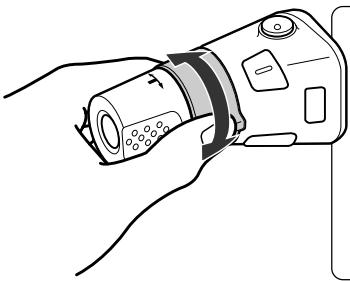
本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)を接続してお使いになれます。ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



ソース
SOURCEボタンを押すと
本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
TUNER ↔ CD/MP3
と切り換わります。



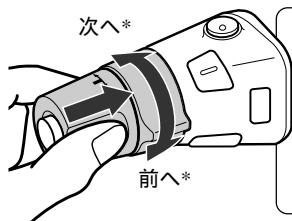
モード
ラジオの時**MODE**ボタンを押すと
FM1 FM2 AM1 AM2 ...
と切り換わります。



シーク
SEEKつまみを短く回して離すと
ラジオ... 自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます。
CD/MP3... 曲の頭出しをする
回し続けると早く送られ、離すと再生に戻ります。

次のページへつづく

ロータリーコマンダー(別売り)の操作(つづき)



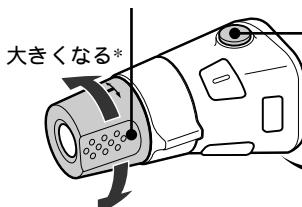
ボリューム
VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM.....登録した放送局を順に受信する

MP3 フォルダーを切り換える

表示画面は数秒後にもとに戻ります。

音量を調節する (ボリューム
VOLつまみを回す)

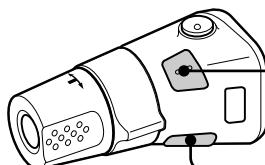


音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)

解除するにはもう一度押すか、VOLつまみ
で音量を上げます。

電源を切る (OFFボタンを押す)

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した
方向になっています。



音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す)
サウンド
本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

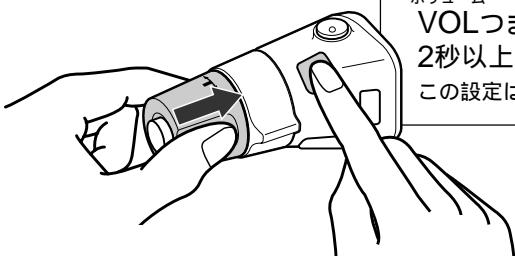
画面表示を変える (DSPLボタンを押す)
ディスプレイ
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

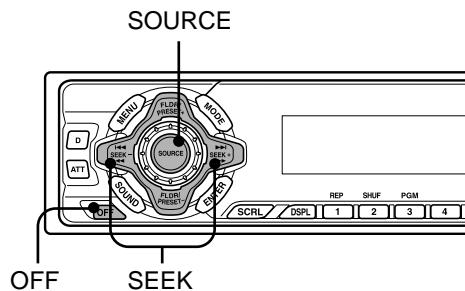
運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方
向を逆に設定できます。

ボリューム
VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを
2秒以上押す

この設定は、本体でもできます(41ページ)。



CDを聞く



ちょっと一言

ディスクの先頭または終わりになると「...」
または「...」と表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

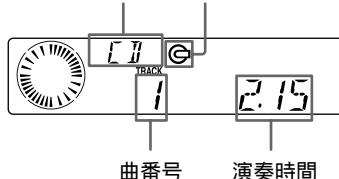
CD

聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEKボタンの+または-を繰り返し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

ディスクタイプ ディスク表示



曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離します。

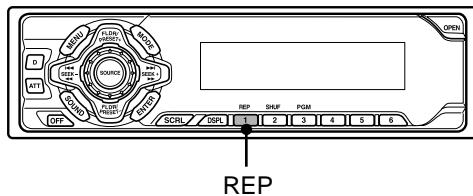
再生をやめるには

ラジオに切り換えるか、OFFボタンを押します。

最後の曲が終わると、最初の曲に戻って再生が始まります。

繰り返し聞く (リピート再生)

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。



CDの再生中にREPボタンを押す。

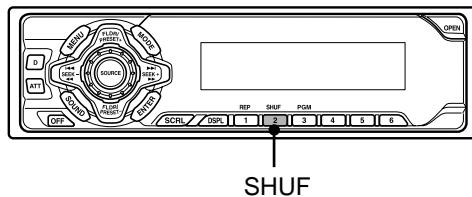
リピート再生が始まります。

リピート再生をやめるには
REPボタンを押して「REP:OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲の曲順を変えて
聞くことができます。



ちょっと一言

シャッフル再生中は、同じ
曲が2度以上再生されるこ
とがあります。

CDの再生中にSHUFボタンを押す。

シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには
SHUFボタンを押して「SHUF:OFF」を選びます。

CD

聞きたい曲を 好きな順に聞く (プログラム再生)

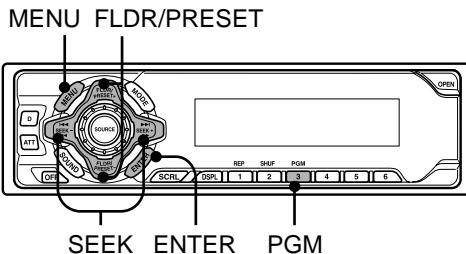
ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しむことができます。プログラムで聞きたい順番に20曲まで登録できます。

ご注意

プログラム作成(登録 / 変更)中はシャッフル再生やリピート再生は保留されます。

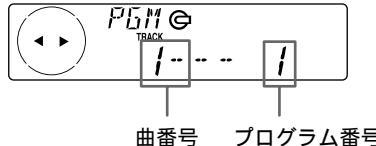
ご注意

20のスロットすべてに登録すると「**FULL**」が表示され、それ以上登録することはできません。



プログラムを登録する

- 1 CDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 FLDR/PRESETボタンの+または-を押して「PGM-SET」を選びENTERを押す。
プログラム番号と曲番号が表示されます。



曲番号 プログラム番号

- 3 SEEKボタンを押して、プログラムに登録する曲を選ぶ。

- 4 ENTERボタンを押す。
曲の登録中は「+ENTER+」が表示されます。



登録が終わるとプログラム番号が1つ繰り上がり、次のプログラムの登録画面になります。

手順3と4を繰り返して曲を追加します。

- 5 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

「NO DATA」：プログラムの登録がないときに表示されます。

登録したプログラムで再生する

CDの再生中にPGMボタンを押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

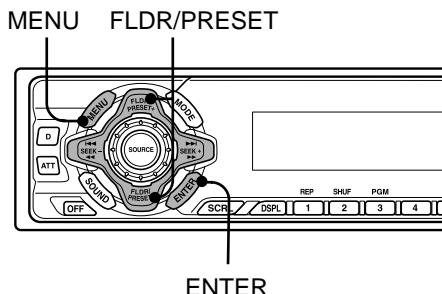
PGMボタンを押して「PGM-OFF」を選びます。

C
D

プログラムを 変える

(プログラム変更)

登録したオリジナルのプログラムに聞きたい曲を追加登録することができます。



ちょっと一言

曲と曲の間に追加したい場合は、追加したいスロットで新たにENTERするとそれ以降の曲が後ろに移動します。

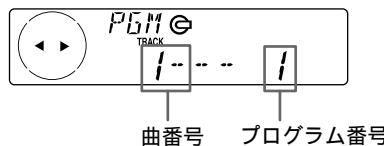
プログラムに曲を追加する

「プログラムを登録する」(20ページ)と同じ操作で追加することができます。

プログラムに登録した曲を消去する

- 1 CDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 FLDR/PRESETボタンの + または - を押して「PGM-SET」を選びENTERを押す。

プログラム番号と曲番号が表示されます。



- 3 FLDR/PRESETボタンを押して消去したい曲を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを2秒以上押す。

スロット番号から曲が消去され、それ以後の曲が繰り上がります。

他の曲を消去するには、手順3と4を繰り返してください。

ちょっと一言

登録したプログラムが全て消去されると、「NO DATA」と表示されます。

5 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

プログラムを全消去する

1 「プログラムに登録した曲を消去する」の手順2で「ERASE-ALL」を選ぶ。



CD

2 ENTERボタンを2秒以上押す。



「NO DATA」が表示され、プログラムが消去されます。

3 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

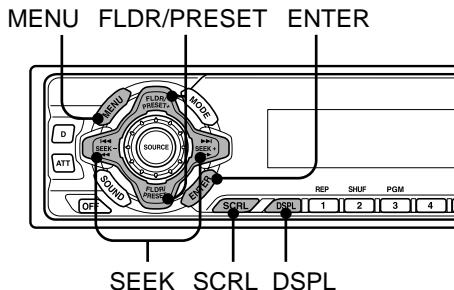
CD TEXTを見る

本機はCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。

CD TEXTとは
アルバム名、アーティスト
名、曲名などの文字情報を記
録した音楽CDの呼称です。

ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字数を表示しきれないことがあります。
- 曲名のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名表示にしているときだけです。



文字をスクロールさせるには

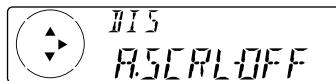
CD TEXTの文字情報が8文字以上ある場合は、SCRLボタンを押すと表示が1回スクロールします。

オートスクロールの設定

CD TEXT対応のCDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったときにディスク名、曲名およびアーティスト名が自動的に表示されます。この設定を「ON」になると8文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

1 CDの再生中にMENUボタンを押す。

2 FLDR/PRESETボタンの+または-を押して「A.SCRL」を選ぶ。



3 SEEKボタンの+側を押して「A.SCRL-ON」を選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには
手順3で「A.SCRL-OFF」を選びます。

ちょっと一言

「オートスクロールの設定」
(24ページ)でA.SCRL-
ONにしておくと、ディス
クや曲が変わったときに自
動的にスクロール表示させ
ることができます。

CD TEXT対応ディスクを再生すると

DSPLボタンを押すごとに表示画面は

►ディスク名^{*1} / アーティスト名^{*2} —————►曲名^{*1} —————
曲番号と再生時間 ◀

と切り換わります。

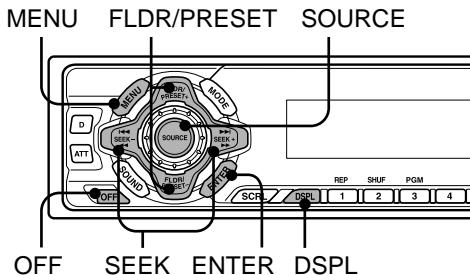
*¹ ディスク名、曲名がついていないときは「NO NAME」と一瞬表示
されます。

*² アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。ま
たアーティスト名の記録されていないディスクもあります。

C
D

MP3ファイル を聞く

本機はCD-ROMやCD-R、CD-RWのMP3ファイルを再生できます。



聞きたいフォルダーを選ぶには

再生中にFLDR/PRESETボタンの+または-を繰り返し押す。

次のフォルダーまたは前のフォルダーに1つずつ切り換わります。

MP3ファイルを含まないフォルダーは選ばれません。

聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEKボタンの+または-を繰り返し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

ちょっと一言

ディスクの先頭または終わりになると「...」
または「...」「...」と表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

フォルダ名 / ファイル名から選ぶには

- 1 再生中にMENUボタンを押す。
- 2 FLDR/PRESETボタンの+または-を押して「PATH」を選びENTERを押す。

ファイル名が表示されます。



- 3 FLDR/PRESETボタンの+または-を押してフォルダーを選ぶ。
- 4 SEEKボタンの+または-を押してファイルを選ぶ。
- 5 ENTERボタンを押す。

選んだファイルの再生が始まります。

ファイルの聞きたいところにするには
再生中にSEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたい
ところで離します。ボタンを押し続けている間は音が出ません。

再生をやめるには

ラジオに切り換えるか、OFFボタンを押します。

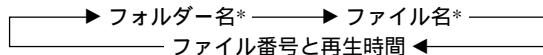
最後のファイルの再生が終わると、最初のファイルに戻って
再生が始まります。

[次のページへつづく](#)

MP3ファイルを聞く(つづき)

再生中の表示

DSPLボタンを押すごとに表示画面は



と切り換わります。

* フォルダー名、ファイル名は8文字まで表示されます。
A~Z、0~9と「_」は表示されますが、その他の文字・記号は
「*」に置き換えて表示します。

MP3ファイルの再生順序

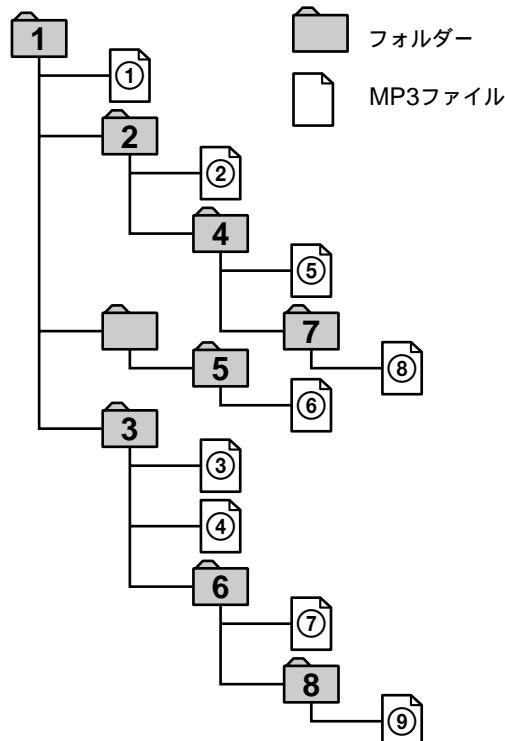
フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。

ご注意

- MP3ファイルを含まない
フォルダーは無視されます。
- 多くの階層を持つディスク
は再生を始めるのに時間が
かかります。2つ以下の階
層のディスクをお勧めしま
す。
- ディスクに含まれるフォル
ダーは255個までです。
- ディスクに含まれるファイ
ルは999個までです。

ちょっと一言

同一階層内のフォルダーや
ファイルはライティングソ
フトによってディスクに書
き込まれた順序で再生しま
す。一般的には名前の数
字・アルファベット順に書
き込まれるため、フォル
ダー名・ファイル名のはじ
めに数字(01、02など)を
つけることで再生順序を指
定することができます。

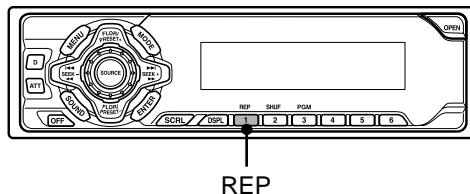


第1階層 第2階層 第3階層 第4階層 第5階層

繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中のファイルのみ、またはフォルダー内の全ファイルを繰り返し聞くことができます。



ファイルの再生中にREPボタンを押す。

ボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中のファイルのみ繰り返す「REP:1」にする。
- フォルダー内の全ファイルを繰り返す
.....「REP:FLDR」にする。

M
P
3

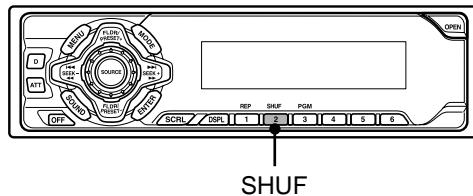
リピート再生をやめるには

REPボタンを押して「REP:OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全ファイル、または
フォルダー内の全ファイルの曲順を変えて
聞くことができます。



ちょっと一言

シャッフル再生中は、同じ
ファイルが2度以上再生さ
れることができます。

ファイルの再生中にSHUFボタンを押す。

ボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わり
ます。



- 再生中のディスク内の全ファイルを順不同に再生する
には
「SHUF:1」にする。
- 再生しているフォルダー内のファイルを順不同に再生す
るには「SHUF:FLDR」にする。

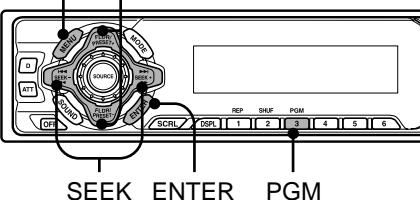
シャッフル再生をやめるには
SHUFボタンを押して「SHUF:OFF」を選びます。

聞きたいファイル を好きな順に聞く

(プログラム再生)

フォルダーの中から好きなファイルだけを集めてオリジナルのプログラムを楽しむことができます。プログラムで聞きたい順番に20ファイルまで登録できます。

MENU FLDR/PRESET



ご注意

- ・プログラム作成(登録/変更)中はシャッフル再生やリピート再生は保留されま
- す。
- ・プログラム作成中はFLDR/
- PRESETボタンでのフォル
- ダーモードはできません。

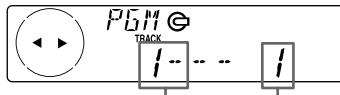
MP3

プログラムを登録する

1 MP3ファイルの再生中にMENUボタンを押す。

2 FLDR/PRESETボタンの+または-を押して「PGM-SET」を選びENTERを押す。

プログラム番号とファイル番号とが表示されます。



ファイル番号 プログラム番号

3 SEEKボタンを押して、プログラムに登録するファイルを選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

ファイルの登録中は「+ENTER+」が表示されます。



登録が終わるとプログラム番号が1つ繰り上がり、次のプログラム登録画面になります。

手順3と4を繰り返して曲を追加します。

5 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

聞きたいファイルを好きな順に聞く(つづき)

ご注意

「NO DATA」: プログラムの登録がないときに表示されます。

登録したプログラムで再生する

MP3ファイルの再生中にPGMボタンを押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

PGMボタンを押して「PGM-OFF」を選びます。

プログラムを 変える

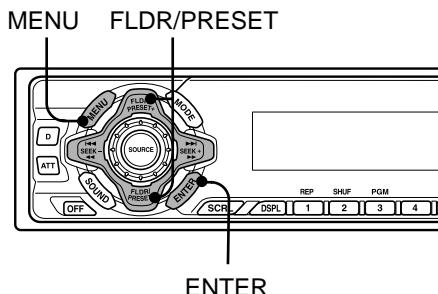
(プログラム変更)

登録したオリジナルのプログラムに聞きた
いファイルを追加登録することができま
す。

ちょっと一言

ファイルとファイルの間に
追加したい場合は、追加し
たいスロットで新たに

ENTERするとそれ以降の
ファイルが後ろに移動しま
す。



プログラムにファイルを追加する

「プログラムを登録する」(31ページ)と同じ操作で追加する
ことができます。

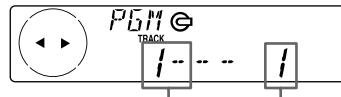
M
P
3

プログラムに登録したファイルを消去する

1 MP3ファイルの再生中にMENUボタンを押す。

2 FLDR/PRESETボタンの+または-を押して
「PGM-SET」を選びENTERを押す。

プログラム番号とファイル番号が表示されます。



ファイル番号 プログラム番号

3 FLDR/PRESETボタンを押して消去したいファ
イルを選ぶ。



[次のページへつづく](#)

プログラムを変える(つづき)

ちょっと一言

登録したプログラムが全て消去されると、「NO DATA」と表示されます。

4 ENTERボタンを2秒以上押す。

スロット番号からファイルが消去され、それ以後のファイルが繰り上がります。

他のファイルを消去するには、手順3と4を繰り返してください。

5 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

プログラムを全消去する

1 「プログラムに登録したファイルを消去する」の手順2で「ERASE-ALL」を選ぶ。



2 ENTERボタンを2秒以上押す。



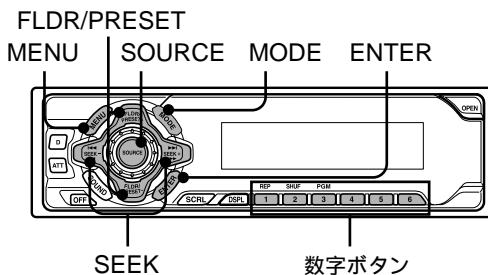
「NO DATA」が表示され、プログラムが消去されます。

3 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を自動的に登録します。
 「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

ラジオ

1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

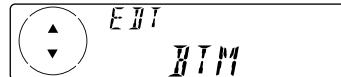
2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2
 と切り換わります。

3 MENUボタンを押す。

4 FLDR/PRESETボタンの+または-を押して「BTM」を選ぶ。



5 ENTERボタンを押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

[次のページへつづく](#)

放送局を自動で登録する(つづき)

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタン、FLDR/PRESETボタンの+または-を押して聞きたい放送局を選ぶ。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

SEEKボタンの+または-を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEKボタンの+または-を押し続けます。
 - 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
- 1 ラジオ受信中、MENUボタンを押し、FLDR/PRESETボタンの+または-で「LOCAL」を表示させる。
 - 2 SEEKボタンの+側で「LOCAL-ON」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「LOCAL-OFF」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

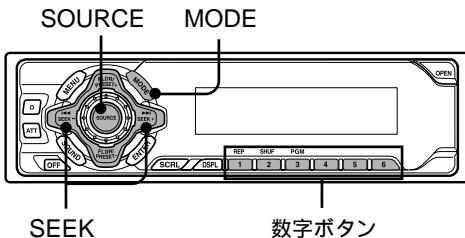
- 1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押し、FLDR/PRESETボタンの+または-で「MONO」を表示させる。
- 2 SEEKボタンの+側で「MONO-ON」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「MONO-OFF」を選びます。

特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(35ページ)したあと、空いているプリセットチャンネルに他の放送局を追加登録できます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

ラジオ

1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

3 SEEKボタンの+または-を押し続けて、登録する局の周波数が表示されたところで離す。

FM 1
76.1

4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

MEM
1 76.1

押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

ちょっと一言

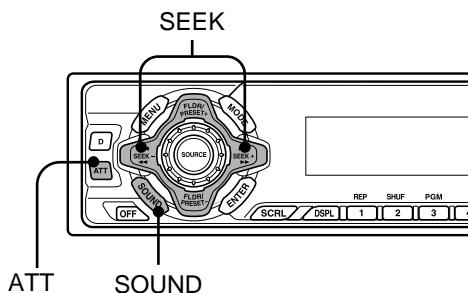
「FM1」、「FM2」、「AM1」
および「AM2」のそれぞれに
6局ずつ、合わせてFM、AM
各12局ずつ設定できます。

音のバランスや音質を設定する

(バランス / フェーダー)

(ベース / ト レ ブ ル)

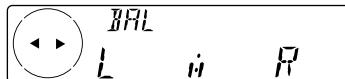
(ATT)



出力バランスを調節する

前後と左右のスピーカー出力のバランスを別々に調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押して、「BAL」または「FAD」にする。



バランス調節モード

左右を調節する「BAL」にする。

前後を調節する「FAD」にする。

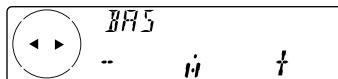
- ## 2 SEEKボタンを押して出力バランスを調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

音質を設定する

BAS(低音)とTRE(高音)を別々に調節できます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押して、「BAS」または「TRE」にする。



ベース調節モード

低音を調節する「BAS」にする。

高音を調節する「TRE」にする。

- 2 SEEKボタンを押して音質を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

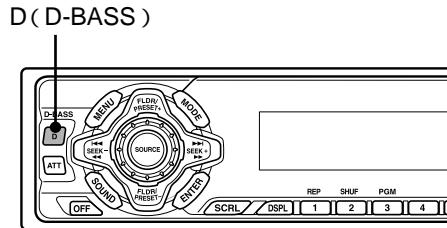
「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。

「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

重低音を強調する

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに、それに合わせて高音域も増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音とメリハリの効いた高音を楽しめます。

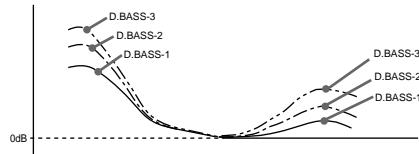


ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASS設定や音量を聞きやすいように調整してください。

低音を調節する

D(D-BASS)ボタンを繰り返し押して、1~3を選びます。
数字が大きいほど低音と高音が強調されます。

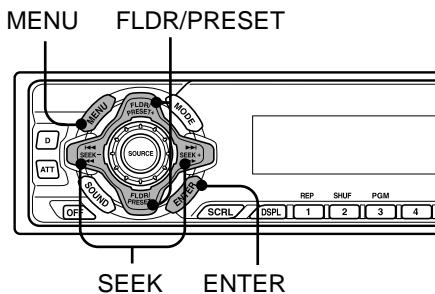


通常に戻すときは

D(D-BASS)ボタンを繰り返し押して「D.BASS-OFF」にしてください。

音や表示などの設定を変える

(Set up/Display)



Set upメニュー

設定の種類 設定内容

「CLOCK」 時計の設定。(9ページ)

「BEEP」 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。

「RM」 ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。

「norm」 → 初期設定の回転方向。

「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

Displayメニュー

設定の種類 設定内容

「D.INFO」 常に時計を表示させる。

「M.DSPL」 モーションディスプレイの設定をする。

「ON」 → 本機がOFFのときにモーションディスプレイする。

「OFF」 → モーションディスプレイしない。

「A.SCRL」 CD TEXT対応のディスク再生時に表示を自動的にスクロールさせる。(24ページ)

その他の操作

[次のページへつづく](#)

音や表示などの設定を変える(つづき)

設定を変える

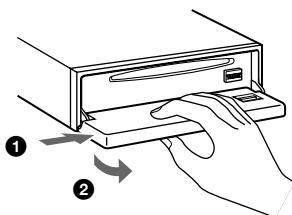
- 1** MENUボタンを押す。
- 2** FLDR/PRESETボタンの+または-を押して設定したい項目を選ぶ。
押すたびに項目は次のように変わります。
CLOCK → A.SCRL → M.DSPL → D.INFO → RM
→ BEEP
表示される項目はソースによって異なります。
- 3** SEEKボタンの+または-を押して調節したい設定にする。
(例:「ON」または「OFF」)
- 4** ENTERボタンを押す。

使用上のご注意

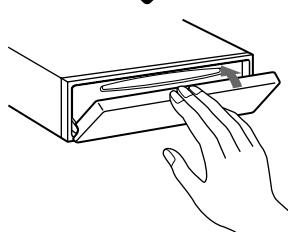
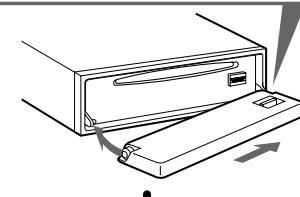
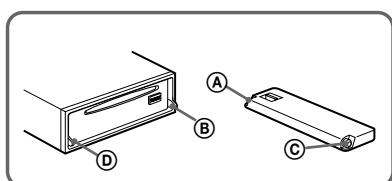
本機の取り扱い

フロントパネルについて

取り外すときは必ず、OFFボタンを押し、電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。



取り付けるときは、フロントパネルのⒶ部分と本体のⒷ部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルのⒸ部分と本体のⒹ部分を合わせて取り付けます。

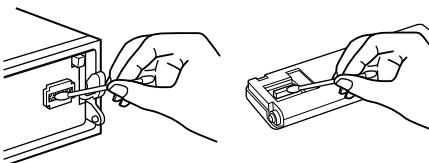


△注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがあります。故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

本体の表面を傷めないために

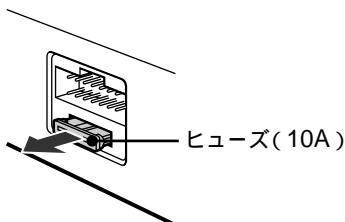
本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

次のページへつづく

使用上のご注意(つづき)

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

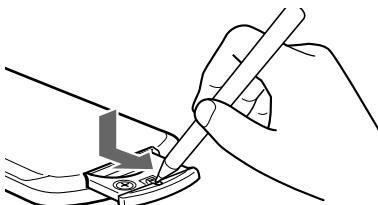
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

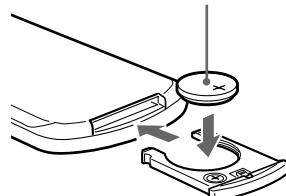
カードリモコン

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の \oplus と \ominus を正しく入れてください。



\oplus を上向きにする



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

△警告

- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・電池は充電しない。
- ・指定された種類の電池を使用する。

△注意

- ・+と-の向きを正しく入れる。
- ・電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとつから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ・ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- ・直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ATT機能を解除してください。スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作用電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定(41ページ)を「ON」にしてください。別売りのアンプに接続していると「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	<p>OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 →もう一度OFFボタンを2秒以上押して、時計表示を出してください。</p>
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ出てくる。	<ul style="list-style-type: none">すでに別のディスクが入っている。ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上にして入れてください。
CD/MP3 音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">ディスクが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。本機の取り付け角度が60°を越えている。本機が正しく固定されていない。保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。
MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none">ISO9660レベル1、レベル2、Juliet、Romeoに準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。MP3ファイルに拡張子が付いていない。 → 記録した機器で拡張子「.MP3」を付けてください。MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。

症状	原因・処置
CD/MP3	<p>フォルダー名／ファイル名が正しく表示されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO9660レベル1に準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。 本機では8文字までしか表示されません。 <p>フォルダー名／ファイル名が「*」になる。 CD TEXTの文字が「*」になる。</p> <p>本機で表示できる文字は英文大文字(A~Z)、数字(0~9)と「_」のみです。それ以外の漢字、カナなどは「*」となります。</p>
ラジオ	<p>受信できない、雑音しか出ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリー電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 周波数を確認してください。 <p>SEEKボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数しか受信しません。 →「LOCAL-OFF」にしてください(36ページ)。 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEKボタンを押し続けて周波数を合わせてください。 <p>ステレオ放送が聞きにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 周波数を確認してください。 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください(36ページ)。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

CD/MP3のメッセージ、エラー表示

本機が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
ERROR	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	66dB (ステレオ) 72dB (モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6% (ステレオ) 0.3% (モノラル)

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 μV

アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	50W×4 (4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	ATT入力端子、 リモート入力端子
本体寸法	FM/AMアンテナ入力端子 約178×50×179mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×162mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.3kg
付属品	カーデリモコン RM-X114(1) (リチウム電池(1)を含む) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	パワーアンプ XM-7547など ロータリーコマンダー RM-X4S RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m) 電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

- ア行
エラー表示 48
音量 12、13

サ行

- スクロール 24、41
シャッフル
 CD 19
 MP3 30
ステレオ放送 36

タ行

- 登録
 自動登録 35～36
 放送局 35～37
時計 9

ハ行

- バランス 38
ヒューズ 44
表示窓
 CD 17、20～25
 MP3 31～34
ラジオ 35～37
フェーダー 38
プログラム
 CD 20～23
 MP3 31～34
フロントパネル 43
ベストチューニングメモリー
 (BTM) 35
ボタンの音 41

ラ、ワ行

- ラジオ
 自動選局 13
 登録 35～37
リセット 8
リピート
 CD 18
 MP3 29
リモコン
 カードリモコン
 14、44～45
 ロータリーコマンダー
 15～16

アルファベット順

- ATT 39
BAL (Balance) 38
BAS (Bass) 39
CD 12、17～25
 CD TEXT 24～25
D-BASS 40
DIS (Display)
 A.SCRL 24、41
 D.INFO 41
 M.DSPL 41
FAD (Fader) 38
MP3 7、12、26～34
PATH 27
PGM 20、31
P/M (Play Mode)
 LOCAL 36
 MONO 36
REP (Repeat)
 CD 18
 MP3 29
SET (Set up)
 BEEP 41
 CLOCK 9、41
 RM 41
SHUF (Shuffle)
 CD 19
 MP3 30
TRE (Treble) 39

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになつてご不明な点、技術的なご質問、故障と思わ
れるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話 : 048-794-5194
受付時間 : 月 ~ 金 9:00 ~ 18:00
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
• 型名
• 故障状態 : できるだけ詳しく
• お買い上げ年月日

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル  0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311
● Fax 0466-31-2595
受付時間: 月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00